

三島町SS整備事業（福島県三島町）

■経緯

2010年にJASSが閉鎖して以降、民間事業者1社によりSSを運営してきましたが、後継者難により2020年5月に廃業し、当町はSSが存在しない町となりました。その後、町民有志による「町内ガソリンスタンド早期再開」に関する署名活動により嘆願書が提出されたことを受け、町では、冬期間の灯油需要への供給、除雪車への給油、災害時の対応など、地域住民への安定した燃料供給網を整備するため、2020年12月に公設民営方式にてSS運営を再開しました。

一方、再開したSSは旧国道沿いで袋小路に立地しており、災害時の燃料供給とともに備蓄量に懸念があることに加え、利用者が町民に限定されており経営収支に影響を及ぼしていることや施設の老朽化が著しいなどの課題があり、課題を含めた三島町における持続可能な燃料供給体制の確立に向けた施策を検討するため、2021年度に「SS過疎地対策計画」を策定しました。

計画を踏まえ、現在のSSを廃止する一方で、経済産業省の補助金を活用し国道252号沿いの道の駅隣接地に新たなSSを整備し、令和6年3月1日から公設民営により営業を開始しました。

■主な取組内容・成果

○整備内容：国道252号沿いで、世界的な鉄道撮影スポット「第一只見川橋梁ビューポイント」や道の駅に隣接しており、観光客などの町民以外の利用が見込める立地に整備しました。

- ・住所：福島県三島町大字川井字天屋原 560 番地 1（国道 252 号沿い、道の駅尾瀬街道みしま宿隣）
- ・整備面積：敷地面積 1,718.56 m²、管理棟面積 114.72 m²、キャノピー122 m²
- ・整備設備：貯蔵タンク（容量 50KL）、セルフ用計量機 3 台（ガソリン・軽油用 2 台、灯油用 1 台）、POS 機器、洗車機、自家発電機等（※）
（※）洗車機、自家発電機等については町一般財源等で整備
- ・給油形態：セルフサービス
- ・運営方式：公設民営方式、指定管理施設として指定管理者を公募の結果、桐の里産業株式会社が運営します。
- ・運営体制：営業形態や移転による販売数量の増加を踏まえ、総勢 5 名（正社員 3 名、パート 2 名）体制で運営します。
- ・営業日時：給油形態や近隣の SS 状況等を踏まえ、新たな指定管理者との協議により、木曜日を定休日とし、7:00 から 19:00 で営業します。

○需要の確保：国道沿いの道の駅隣接地に移設したことで、観光客などの町民外利用者が移設前よりも増えつつあるほか、利便性の向上からこれまで利用しなかった町民の利用増が期待されます。また、町民や特別町民、町内事業所への給油については割引価格により提供しており、「おらがSS」として積極的に利用していただくよう取り組みます。

○災害対応：SSスタッフは町外在住が多いため、大規模災害時に給油スタッフが確保できない恐れがあります。このため、町内在住の町職員が給油に係る資格を取得しスタッフとして対応できるよう取り組むとともに、定期的な防災訓練や発電機等の設備稼働を確認します。

○担い手の確保：慢性的な人手不足を解消するため、近隣三町村で構成する公的な派遣事業「特定地域づくり事業」を活用し、不足するスタッフは正社員を補完する役割として派遣職員により対応しています。



位置図



三島町サービスステーション